

周回飛行中の航研機(東京撮影)

## 周回飛行を終りて

工學士 山本峰雄<sup>(1)</sup>

此の度航空研究所の長距離機が、周回航線距離の世界記録と一萬軒に於ける速度の國際記録とを樹立する事が出来たのは、日本航空界の爲に誠に喜ばしい事と感激して居る次第です。昨年と同じ時期に出来た神風に依る東京倫敦間の都市連絡の國際記録と合せて、我國は一つの世界記録と二つの國際記録とを得た譯です。我國の航空界は外國から觀察して居る様な貧弱なものでない事が明かになつて、彼等も少しは認識を改めるでせう。まだまだ將來我國の手に依つて種々な國際記録或は世界記録が生れ、實質的に世界の航空界をリードする日も、さう遠くはないと云ふ氣がします。

航空知識から何か感想を書けとの事でしたが實はあの記録が生れてから約十日間と云ふものは後始末で過ぎました。又五年間に亙る内部歪が急にとれた爲に、少しぼんやりしてしまつてまとまつた感想もありませんでしたし、嬉しいと云ふ感情も起りませんでした。最近になつて漸く周回飛行

(1) 航空研究所飛行機部

の準備から終了までの経過を辿つてひそかに喜びが湧上つて来るのを感じる様になつた次第です。記録飛行が終つてから最近迄我々は色々の人に會ひましたが、二、三の人々から「君達はえらい鼻息きであらうと思つて近づくことを遠慮した」等と云ふ事を聞きましたが、五年間に亙つて世の中の悪評の下に一致團結して悲壯な覚悟でやつて来た我々は、然しさう單純に兒童の如く躍上るべく餘りに複雑な氣持を以て此の喜びを迎へたのであります。

省れば此の飛行機を設計し、製作し飛ばして今日の結果を得る迄には、表面に出て居る各製作會社以外に多數の方々の精神的、技術的援助が我々を勵まし、力づけて呉れた事は非常なものであります。

飛行機と云ふものは出来上る迄の仕事よりも、出来上つてからの改修工事の方が大仕事です。多くの故障やそれに伴ふ改修工事は當然であつて、此の飛行機は基礎研究がよく出来て居るから改修工事は少い方である等と云つて我々の作つた“改

修工事日程表”などを一々仔細に見て呉れる人、長距離機を見る度に細部迄色々の技術的意見を文書で書いて送つて下さる方、此の飛行機は公開の席上で試飛行や試験飛行をやり又故障を起し改修をやつて居るのだから我々の場合と違つてほんとはやり難いであらうと思つて呉れる人々等一々思ひ浮べると際限もない位です。之等の人々に會ふ毎に我國の技術も愈々其の形骸に精神を盛込まれて、技術者の良心と技術報國の熱情を持つた人々が假令一部をでも支配する様になつたのだと深く感動した事でありました。

實際この様な大きな仕事は色々の支援者が得て始めて當事者が不撓不屈の精神で仕事を進めて行けるのです。

却説、周回飛行は御承知の如く五月十日に本年度の第一回のスタートを切つた譯ですが、此の時は自動操縦装置の故障で十時間餘りで着陸致しました。直ちに此の方面の専門家に來て載せて點檢修理を行ひ夜に至つて略見當がつき、一方八噸着陸を行つた爲め機體各部を嚴重に點檢したが何等の故障がない事が判り、次の時期の到來を待つ許りとなり、前夜徹夜の疲れで早くから寝に就きました。翌日は自動操縦装置の調整飛行を日の暮方に行つて調整を済ませました。斯くして次の時期は氣象通報に依ると二三日以上経過しないと來ないと云ふ話でしたので航研以外の者は東京に歸つたりしましたが、其の時期は豫想に反し意外に早く到來しました。即ち十二日の天氣圖に依り操縦者等の判断した所に依りますと十三日から二、三日は續きさうだと云ふ事になり、三度忙しい然し希望に満ちた夜が我々を見舞ひました。此の判断に依り我々は幸運にもキュービツドの前髪を剃りと挿んだ譯です。糶米廠よりの航空糧食の連絡、受取り、之以外の糧食、機上持込品の購入、協會代表者との打合せ、各監視所勤務員の集合指令、

監視所で夜間使用する發煙筒の準備等に夜半迄を過し、午前一時半から飛行場に出掛けました。やがて照明燈の光芒の下で、戦場の様な然し靜かな燃料積込が整備員の監督の下に二十五名の工夫の手で始まりました。これが終ると燃料槽の封印です。一々燃料槽の注入口の蓋を取つて注文口蓋を燃料槽に銅線で固着して封印用鉛紙で結び目を封印し封印器で壓し潰して之に立會ひの加治木中佐がサインをしました。昨年の十一月の周回飛行の時は夜露が下りてその上はつるつるして歩くのに骨が折れましたが、今度は夜露も下りず、慣れて居るので落付いて作業をする事が出来ました。次いで同様な方法で二つの自記高度計に封印して之を機體の中に懸吊しました。食糧品や飲料水の積込みも終つて居ります。

全ての準備を完了したのは午前三時半でした。後は風向を見て機體を離陸滑走の方向に据える許りです。風の方向は常に變化して居りますが、風速は極めて弱く、明方の空には北斗七星、カシオペア、琴座、白鳥座等の美しい星の群が満月に近い月光の中に淡く輝いて居ります。此の快適な天候が三日持續する様皆一様に空を仰いで祈りました。

風向は何れとも定まらず格納庫の前に置かれた機體の前に時期を待つ人々は、時折飛行場の中央近くに歩いて行き煙草の煙を夜空に漂はして風向を見定めようと努力して居ります。四時近くなつて明け行く空に格納庫の屋上に立つ吹流しが力無く垂れて居るのが明かに認められる様になりました。之なら最も長い滑走路が使へさうです。衆議は一決しました。燃料を満載し重くなつた機體は整備員の手によつて懐中電燈の光を道しるべとして最も長い滑走路の端に運ばれました。もはや薄明るくなつて居りますので滑走路の見通しがきき機首を滑走路の中心に合せる仕事は大して困難で

はありません。機首がセットすると搭任者は思ひ  
思ひに最後の点検に機體の周りを一巡して夫々の  
受持ちの部分を確認して居ます。

やがて發動機の試運転が開始され、轟々たる爆  
音が微かに流れる曉の冷気を震はして一しきり響  
き渡りました。我々は離陸の様子を見る爲に望遠  
鏡を持って自動車を駆つて離陸点の手前二〇〇米  
附近に走りました。新聞社の自動車、観測員の自  
動車が櫛の齒をひく様に滑走路に沿つて此の歴史  
的離陸を測定し、記録する爲に走つたのでありま  
した。離陸の合図の白旗は高く上に掲げられてラ  
ンナーとして出發点についた時に似た緊迫した氣  
持が我々を襲ひました。然し豫期に反して爆音は  
はたと止みました。故障ではないかと云ふ不安が  
一瞬起りました。又自動操縦装置かしら、或は回  
轉計かしら等各自思ひ思ひの不安を懐いたのであ  
ります。望遠鏡の視野をさぐると搭乗者の下りる  
氣はひも見えませんが、故障ではないらしい。あんな  
に念を入れて整備してある以上始めから故障を  
起す筈はない。色々の想像を廻らす内連絡がつい  
て發動機の運轉の爲に冷却液の温度が上つた事が  
判り一同安心しました。再度の發動機の始動を待  
つ間芝生を歩いて見ますと、美しい紫色の豊科植  
物の花や黄色のクレオパトラ草等の群落が諸所  
に見られました。緑の芝生を背景にして咲亂れる野  
の花の美しさは我々の緊張を知らぬ氣です。その  
二三本を取つて手袋の間に挿んで此の花が記録飛  
行の記念になる事を祈つて懐に入れました。去年  
の神風の歸還飛行の際飯沼、塚越兩氏はクロイ  
ド飛行場に咲く勿忘草を積んで歐亞の空をかけて  
東京飛行場に運び、日本から持つて行つた櫻の一  
枝と交換したのであります。此の勿忘草は飛行を  
終了して二、三日の後朝日に頼んで掛けて貰ひ今  
でも押し花として保存して居ります。

計らずも二つの記録飛行を記念する可憐な花を

得て、思ひ出を懐しむよすがとする事が出来るに  
至つた幸福に感謝して居ります。

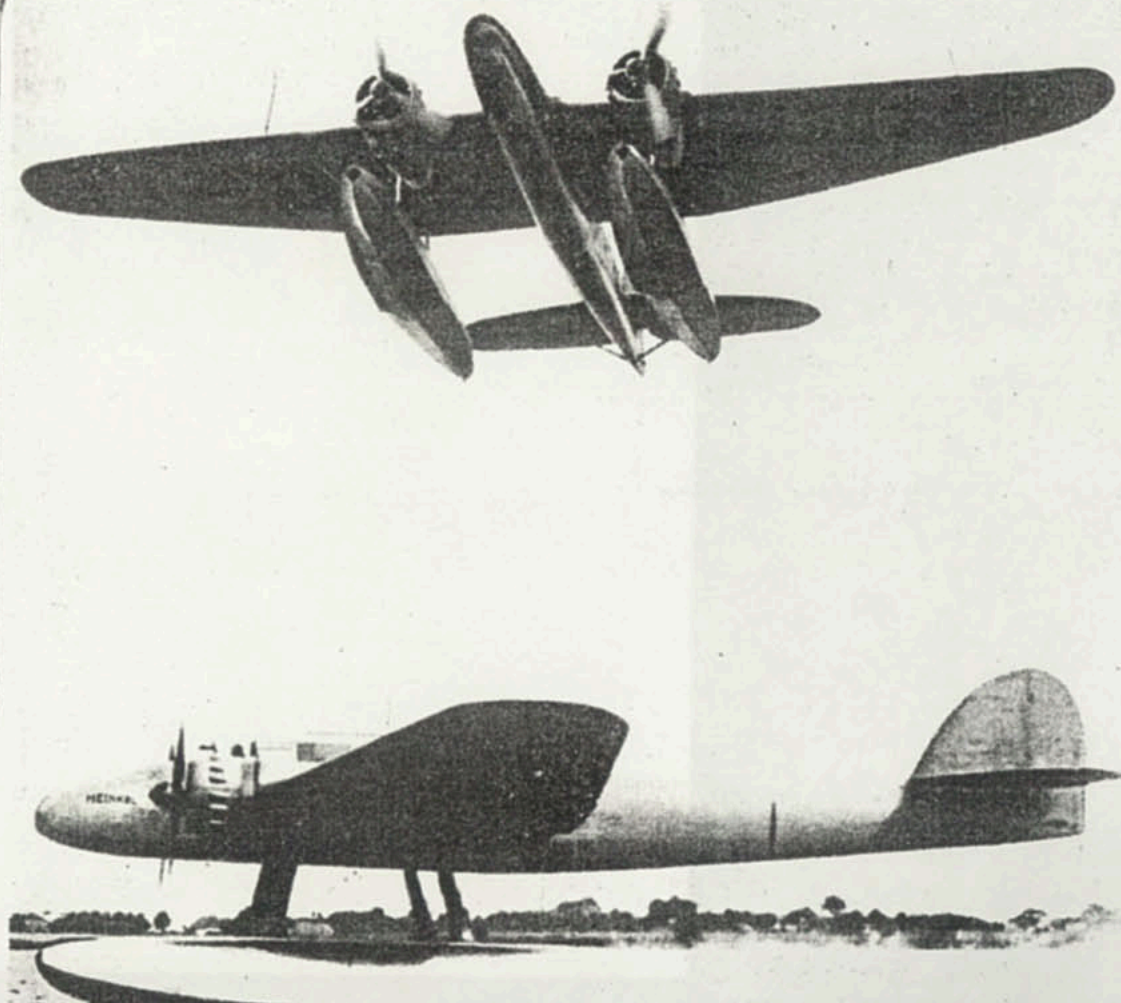
斯くする中に再び發動機は始動され、やがて白  
旗が勢よく振下され、茲に記念すべき離陸滑走が  
始まりました。滑走路の砂塵を左右に分けて轟々  
と我々の前を通過する巨體。離陸迄の五十五秒は  
思はず望遠鏡を握りしめて車輪の接地點を見据え  
ました。滑走距離は丁度1,200米、二町足らず向ふ  
には輝し銀の海が鈍く光つて居りました。

機影が視野を離れると直ちに旅館に引返して皆  
と話しあつてゐる内に早や鏡子監視所から第一報  
が入りました。

これから先の経過は新聞等に報ぜられた通りで  
す。只一回木更津を通過する毎にどうか次の二時  
間飛ばす様に祈らずにはをられませんでしたが。次の  
夜が明けて正午を迎へた頃には成功への期待が一  
様に皆の顔に表れて來ました。第二夜が静かに曇  
い帳を拂つた午前四時過ぎ機影が飛行場の観測用  
ポールに張渡された二本の白い紐の形作る面を何  
事もなかつた様に通過した時は、も早間違ひなく  
一萬軒の速度記録は完成すると確信しました。や  
がて飛行場に人影の数が増した第三日の夕暗が迫  
る頃には、輝く航績距離の世界記録が打樹られて  
居りました。

午後七時半着陸して一しきり歡呼の聲が飛行場  
をゆるがせた後、機體は格納庫の中に入れられ、  
加治木中佐を含む関係者数名が封印を檢查しまし  
たが勿論何の異常もありません。自記高度計は指  
しくもカチカチと忠實に時を刻んで、静かになつ  
た格納庫の中にはつきりと聞えて居ります。

機體は發動機の滑油、グリースが流れ、美しく  
流線を刻して居ります。胴體の上面はガソリンの  
中に入れたエチル鉛のデポジットが白く一面に外  
銀を覆ひ六十二時間半に亘る奮闘を無言の中に物  
語つて居りました。(昭和十三年六月八日)



ハインケルHe115型水上機(獨逸) 本年3月、リッパ、シュミット兩氏操縦、利用荷重2000kgを搭載して1000軒コー  
スに311軒/時、2000軒コースに329軒/時の平均速度を出し、従来伊國のストップパ(カントZ506型水上機)が保持して  
ゐた夫々313軒/時、307軒/時の國際記録を更新した双發水上機。D.M.W.152型800馬力空冷發動機を裝備。構造は不明  
であるが、寫眞で見ると従来ハインケルの特長であつた美しい楕圓翼が普通のテーパー翼に變り、浮舟の支持は、支柱を  
基端に少くして張線を併用してゐること等が目立つ。この寫眞は、機首を修正した跡があるから、恐らくこれは爆撃機、  
雷撃機等として設計され、機首には特殊の銃塔でもつてゐるのだらう。(木村秀政)